

「京都スタートアップ・海外展開支援プロジェクト（うち海外進出チャレンジ支援）」企画・運営業務の公募型プロポーザルの実施に係る質問への回答について

(令和8年2月6日受付分)

	質問	回答
質問 1	仕様書 P.1 海外ビジネス個別マッチング支援（以下「個社支援」）、グローバルスタートアップ・エコシステム構築事業（以下「GSエコシステム構築事業」）の受託者とはどのような形での連携を期待されていますでしょうか。	「個社支援」の業務内容として、プロジェクトに係る全体説明会・成果報告会を開催することとしている等、本プロジェクト全体が一体的かつ効果的に実施されるよう、「チャレンジ支援」「個社支援」の受託者が相互に連携を図っていただくことを想定しています。 「GSエコシステム構築事業」は、受託者の現地ネットワークを活かし、市内スタートアップに対する継続的な支援を行うことを目的としており、例えば「海外進出チャレンジ支援（以下「チャレンジ支援」）」プログラム期間中の面談調整に係る協力やネットワークイベントの周知・当日参加等の連携が考えられます。 また、プログラム終了後、「GSエコシステム構築事業」の受託者が採択企業を継続的に支援することも念頭に、プログラムでの支援状況等を可能な範囲で共有する等を想定しています。
質問 2	仕様書 P.3 商談等に係る現地での移動手段を手配"と記載がありますが、全て業務委託側が費用負担すべきなのでしょうか？	基本的には、商談等に係るすべての移動手段の費用負担を想定しています。 例えば、提案者の企画によりエコシステムツアーを開催するなど、参加者が一体的に移動するためのバスに係るチャーター費用等です。 その他、採択スタートアップに負担を求めることが適当でないと思料される移動手段が生じる際は、京都市との協議の上、負担をお願いすることがあります。
質問 3	仕様書 P.3 関係継続に繋がる商談が1社あたり15件以上、記載がありますが、展示会内に限らず、渡航前後、渡航中のミーティング・紹介等を通じた商談も件数に含まれるのでしょうか。	渡航中及び前後の期間を含む、プログラム全体に係る支援内容を対象としており、受託者において個別に調整した商談以外の商談についても件数に含まれます。

質問 4	仕様書 P.3 事前レクチャーは原則対面開催を想定しておりますが、スタートアップや外部講師はオンラインの参加も許容しますでしょうか。	事前レクチャーの手法について特段の制限はありません。 本事業の趣旨を踏まえ効果的と思われる内容についてご提案ください。
質問 5	仕様書 P.1 "欧州、アジア、北米の3地域において、それぞれ1箇所以上の展示会等への出展を行う"とは、スタートアップには必ずブース出展の機会の提供が必須という理解であっておりますでしょうか。ブース出展が叶わないイベントへの参加も許容されますでしょうか。	ブース出展を基本としておりますが、出展と同程度以上の成果が見込めると考える場合、その他の参加方法について提案いただくことは差支えありません。